

平成 26 年度 第 2 回 CCC 政治学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時：平成 26 年 7 月 30 日（水） 17：00～19：00

II. 場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：川島委員、昇委員、名取委員（事務局）井端事務局長 森下

IV. 資料

- ・平成 26 年第 1 回 CCC 政治学グループ運営委員会 議事録
- ・平成 26 年度 CCC 政治学グループ運営委員会名簿
- ・政治学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究開催要項（案）
- ・参考 1：アクティブ・ラーニングとはなにか
- ・参考 2：「学ぶ」から「できる」へー経営系科目のアクティブ・ラーニングー

V. 議事内容

1. 政治学アクティブ・ラーニングについての話題提供について

話題提供として下記の 2 件の取り組みが検討された。

(1) 多人数教育で政治理解へのモチベーションを高める対話型学修

明治大学 情報コミュニケーション学部の政治学 1、2 年次で行っている対話型学習の試み。
履修学生 107 名 15 回の授業の中で 1～9 回を座学で行い、10～12 回の 3 回にアクティブ・ラーニングによるグループ学修、13～15 回は座学で行い、政治学の原点であるソクラテス・メソッド（問答法）で、「コミュニケーションの実践」、他者との議論を通じた異なる見解との出会いを「対面コミュニケーション」で体験する「多様性の理解・実践」学修

(2) 政治制度の理解を深めるための ICT を用いた討論・レビュー型学修

関西大学で行っている「現実政治における問題を提示し、解決のための制度提案をさせる」試み。
成績評価に結び付くような予習・復習をさせ、ICT を活用した参加型学習で 1 対多における双方向型学修を実現可能にする仕組みを取り入れた試み。

2. 政治学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究の次第について

話題提供の内容を踏まえて、対話集会の開催要項の検討をし、下記に進行が確認された。

(1) プログラム次第として最初に「開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯」（13 時 30 分～13 時 40 分）を川島委員に説明していただくことで了承された。

(2) 続いて「アクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供」（13 時 40 分～14 時 30 分）として以下の 2 件を紹介する。

① 「多人数教育で政治理解へのモチベーションを高める対話型学修」

川島 高峰 氏（明治大学 情報コミュニケーション学部 准教授）

② 「政治制度の理解を深めるための ICT を用いた討論・レビュー型学修」

名取 良太 氏（関西大学 総合情報学部 教授）

③ 申込にあわせて「参加者による話題提供」を募り、採択を委員で検討し、取り組みがあれば紹介いただくことにした。（10 分を予定）

- (3) その後「意見交換」(14時30分～15時20分)とし、政治学教育におけるアクティブラーニングについての質疑を行い、できるだけ多くの意見交換を行う方針で実施することにした。
- (4) 最後に「課題整理とまとめ」(15時20分～15時30分)とし、本対話集会で意見交換されたアクティブラーニングに関する課題の整理と全体のとりまとめをする。

開催日時 平成27年1月24日(土) 14:00～16:00

会 場 明治大学 駿河台キャンパス グローバル・フロント 2階 4021教室

4. 今後の予定

次回は、平成27年1月24日(土)の対話集会とする。